

[2016]九州大学情報統括本部年報 : 2016年度

<https://hdl.handle.net/2324/2198501>

出版情報 : 九州大学情報統括本部年報. 2016, pp.1-. Information Infrastructure Initiative, Kyushu University

バージョン :

権利関係 :



第10章 教育支援事業

10.1 教育用 ICT 環境の管理運用に関する事項

(1) 教育情報システムの日常的な管理運用

教育用 PC の運用を行った。

(参考資料 1-1~3, 2-1~3)

(2) 次期教育情報システムの更新

仕様策定委員会を設置し、次期システムの仕様策定を進めている。

10.2 教育用 ICT 環境の利用支援に関する事項

Web ページ上の教育用 ICT 環境に関する情報の更新、掲載を進めた。また、学府向けオリエンテーション支援として、アカウントの説明や主な情報システムを紹介した案内文書を作成し、配布した。

10.3 Web 学習システム等の教育支援システムの管理運用に関する事項

(1) 各教育支援システムの管理運用

Moodle(Web を利用した学習支援システム)、Mahara(学習日誌等を記載するシステム)、BookLooper(デジタル教材閲覧システム)、Handbook Studio(スマートフォン用コンテンツ作成・提供システム)、Echo360 システム(授業録画システム)の管理・運用を行った。2015 年度後期から教育支援事業室で運用を引き受けた Moodle の 2016 年度と 2016 年度の利用状況を次に示す。

学期	登録学生数	登録職員数	コース数
2015 年度前期	2,687	10,490	206
2015 年度後期	19,293	10,490	112
2016 年度前期	19,207	10,504	718
2016 年度後期	19,259	10,656	421

また、2016 年度限りの運用となる Web 学習システム(Blackboard Learn)を参照用として管理・運用を行った。

(2) コンテンツの提供

Web 学習システムの登録者には、「情報倫理教材」の日本語版、英語版、中国語版を提供している。また、「よくわかる Office 2013」と「よくわかる Office 2016」（いずれも日本語版のみ）を提供した。

10.4 語学学習システムの管理に関する事項

英語教育用のシステム(NetAcademy2)用のサーバ管理を行った。

※運用は言語文化研究院

NetAcademy2 には、SSO-KID を所持する全学生、教職員が登録されている。

10.5 全学シラバスシステムの運用に関する事項

シラバスは、学務部が導入した新学務情報システムに移行したことに伴い、従来の全学シラバスシステムは参照専用として運用し、2016 年度末を持って運用を終了した。

10.6 遠隔講義・会議システムの整備および利用支援に関する事項

(1) 遠隔講義システムの日常的な管理運用

遠隔講義システム「qClass」および多地点接続装置(MCU)を運用し、キャンパス間および学外との遠隔講義・テレビ会議の開催、全学的な説明会等を支援した。

(参考資料 3, 4)

(2) 遠隔講義システムの利用支援

学内におけるテレビ会議・遠隔講義の実施等を支援した。

・ Web ページへの情報掲載

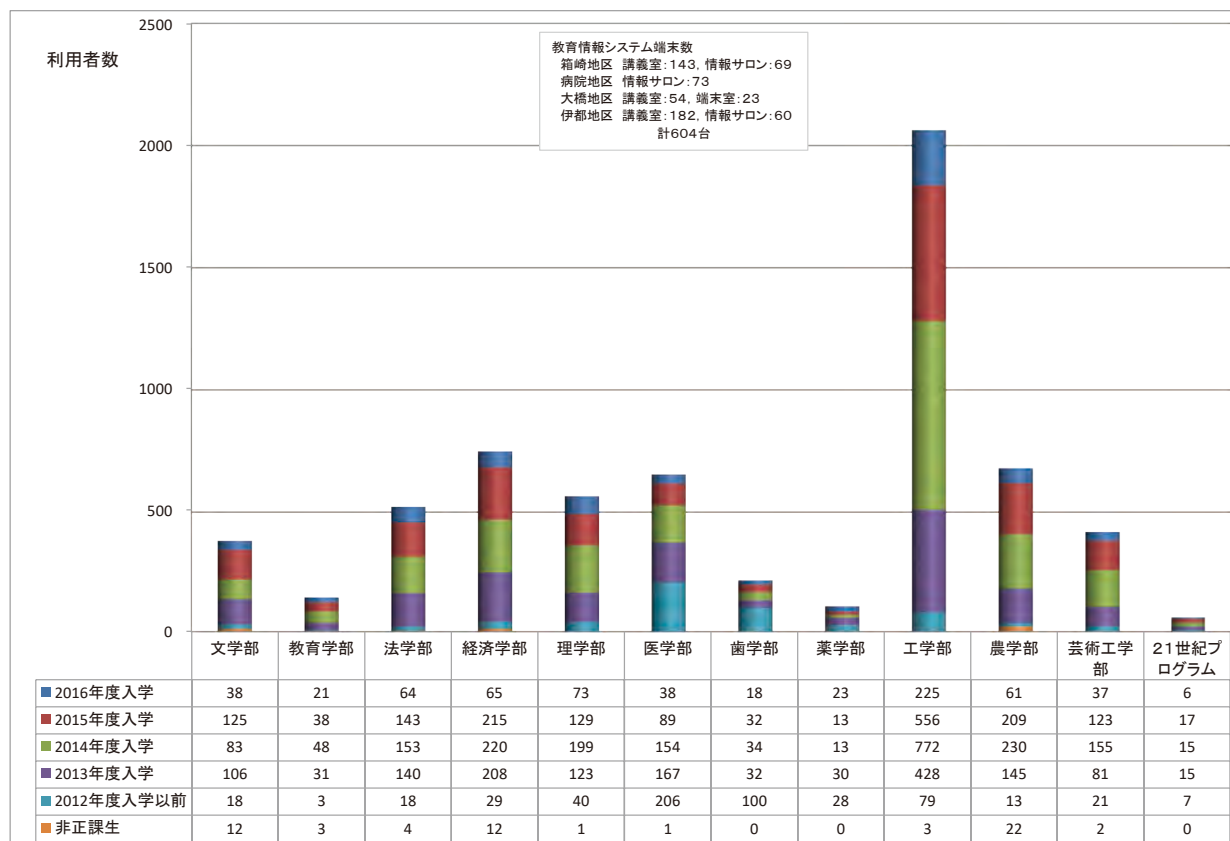
10.7 A 0 判プリンタの運用に関する事項

学内向けに A 0 判プリンタの運用を行った。情報統括本部が伊都キャンパスに移転したことに伴い、箱崎分室が中央図書館に移ったことに合わせて、A 0 プリンタの移設を行なった。

参考資料１－１

教育情報システム 端末・ホスト実利用者

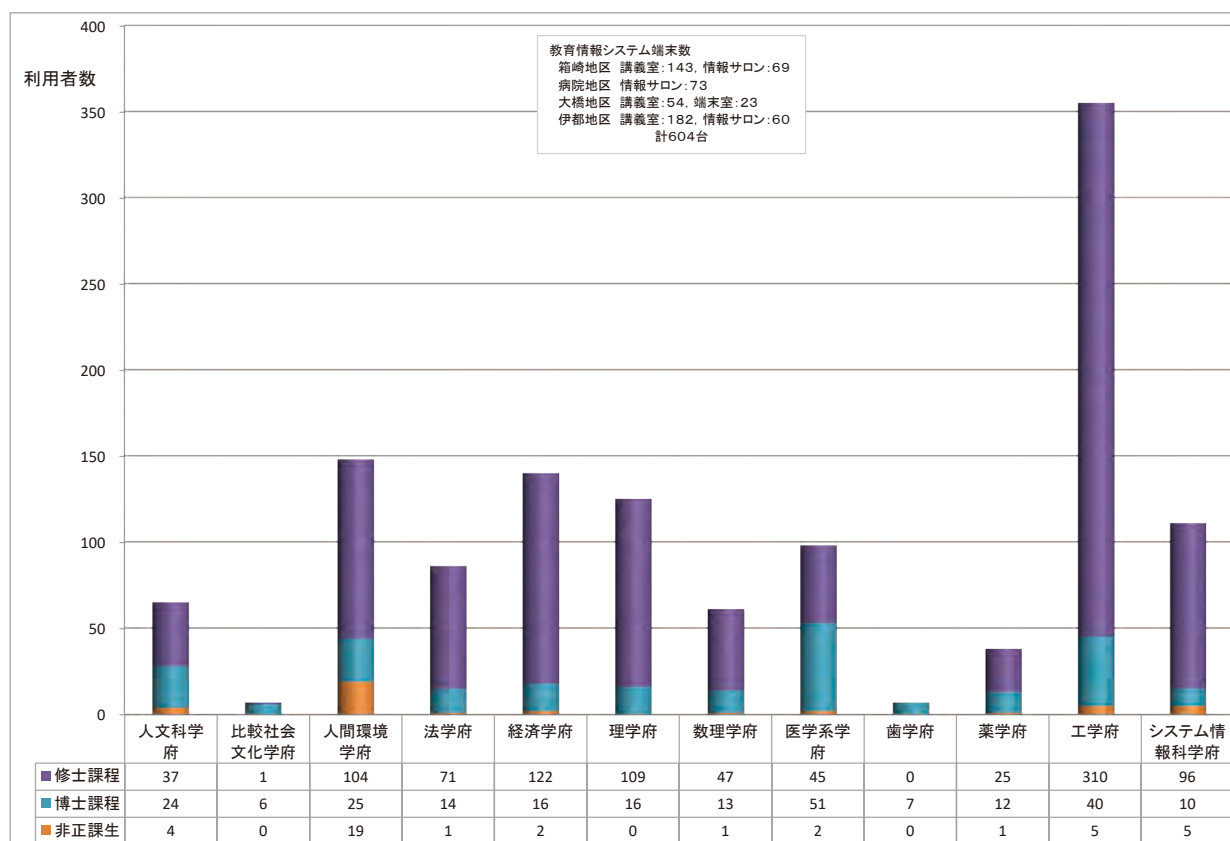
2016/04/01～2017/03/31



参考資料１－２

教育情報システム 端末・ホスト実利用者

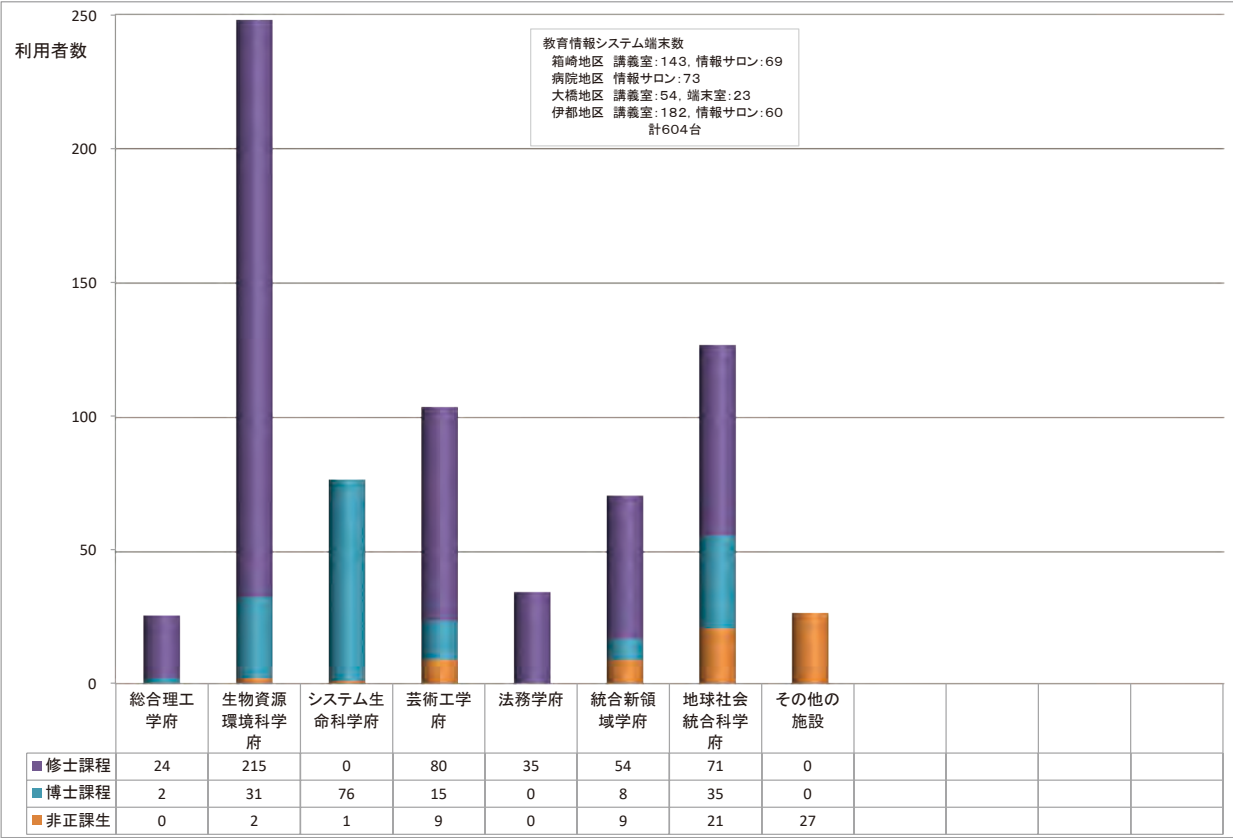
2016/04/01～2017/03/31



参考資料1－3

教育情報システム 端末・ホスト実利用者

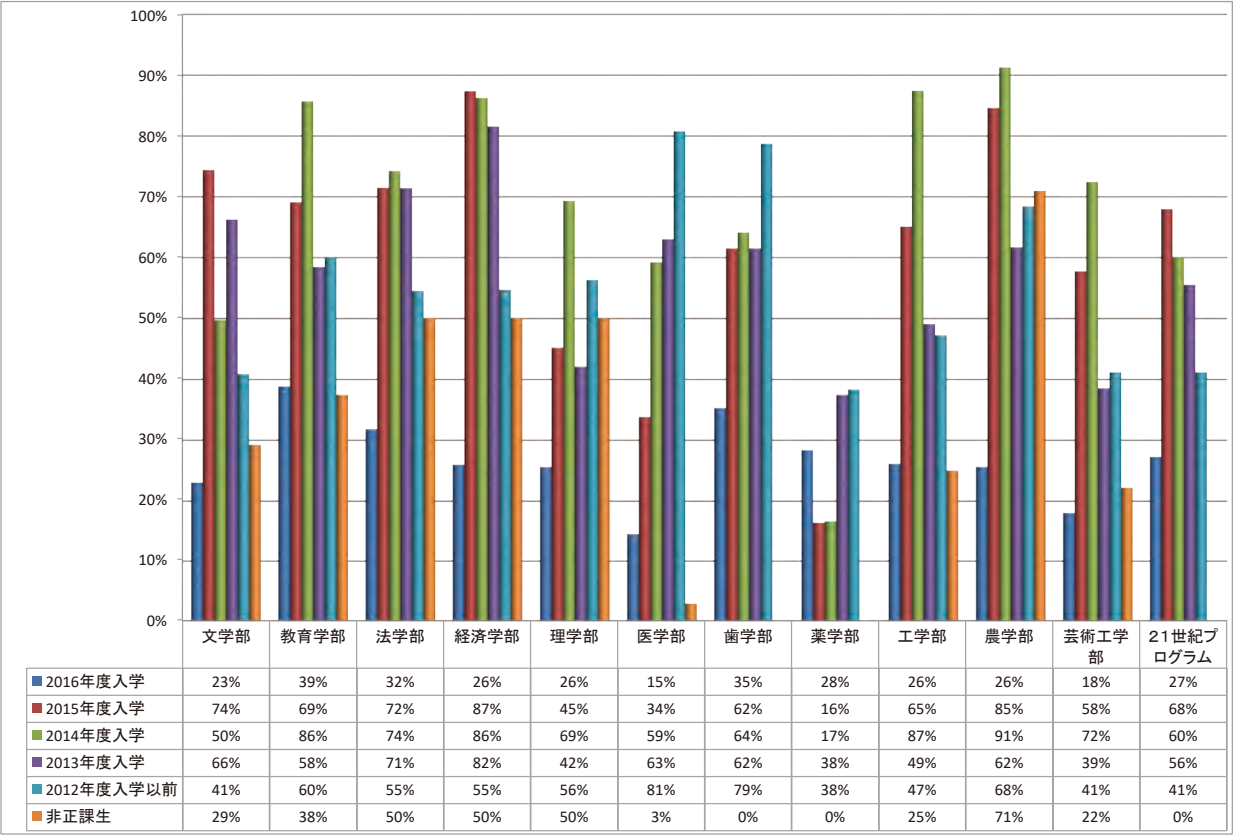
2016/04/01～2017/03/31



参考資料2－1

教育情報システム 端末・ホスト利用者数の登録者数に対する比率

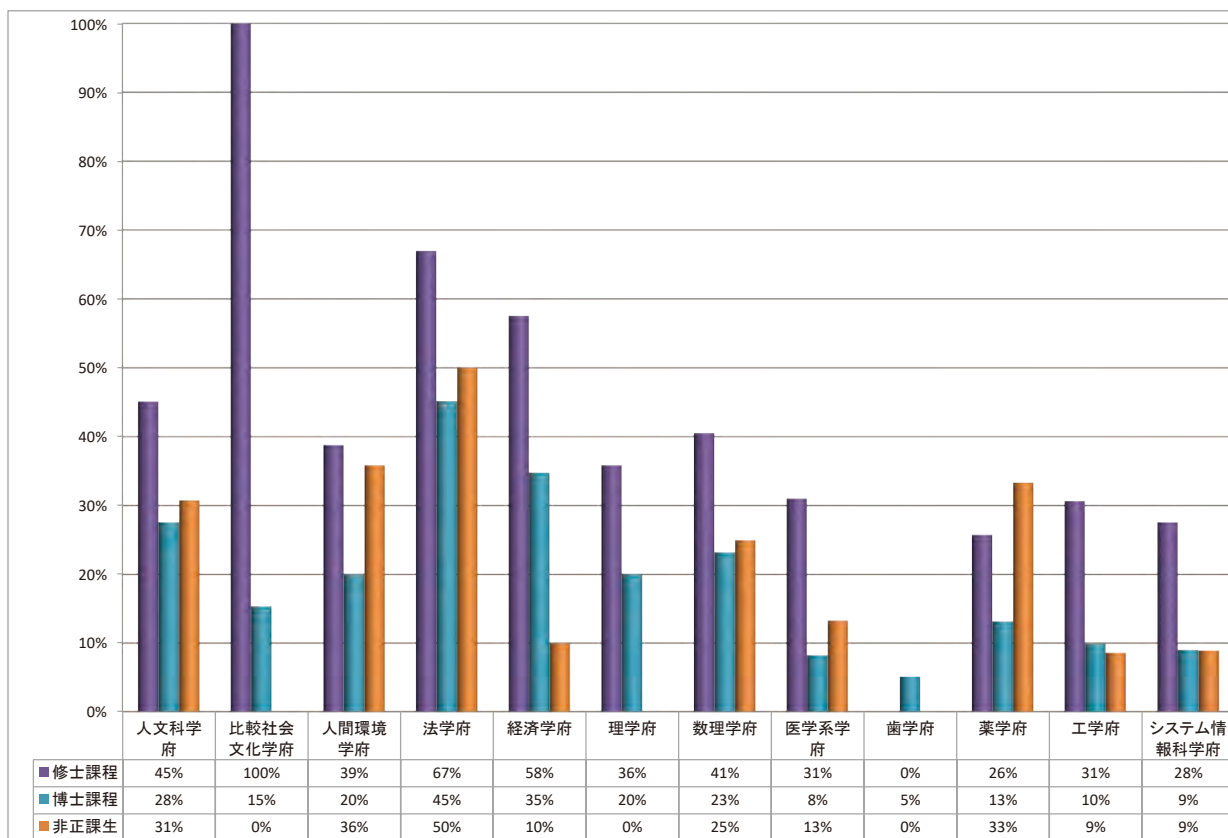
2016/04/01～2017/03/31



参考資料2-2

教育情報システム 端末・ホスト利用者数の登録者数に対する比率

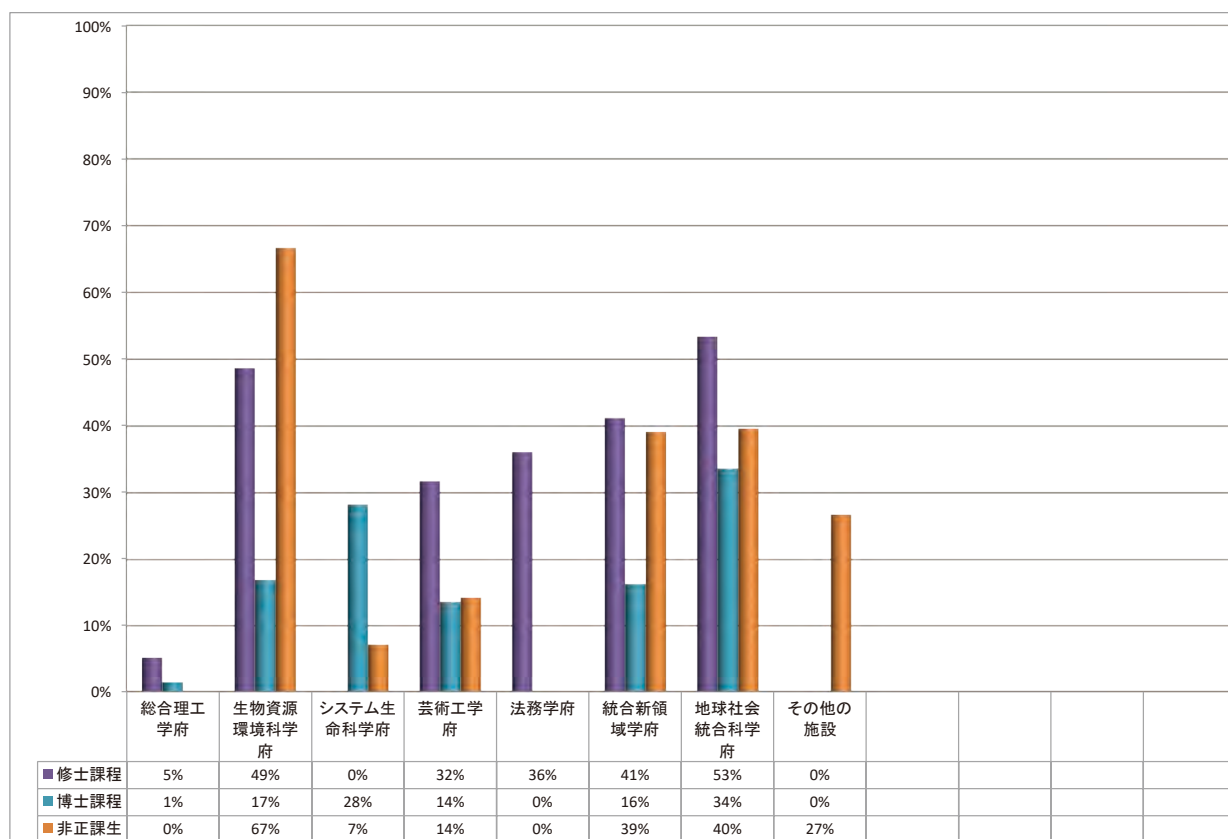
2016/04/01～2017/03/31



参考資料2-3

教育情報システム 端末・ホスト利用者数の登録者数に対する比率

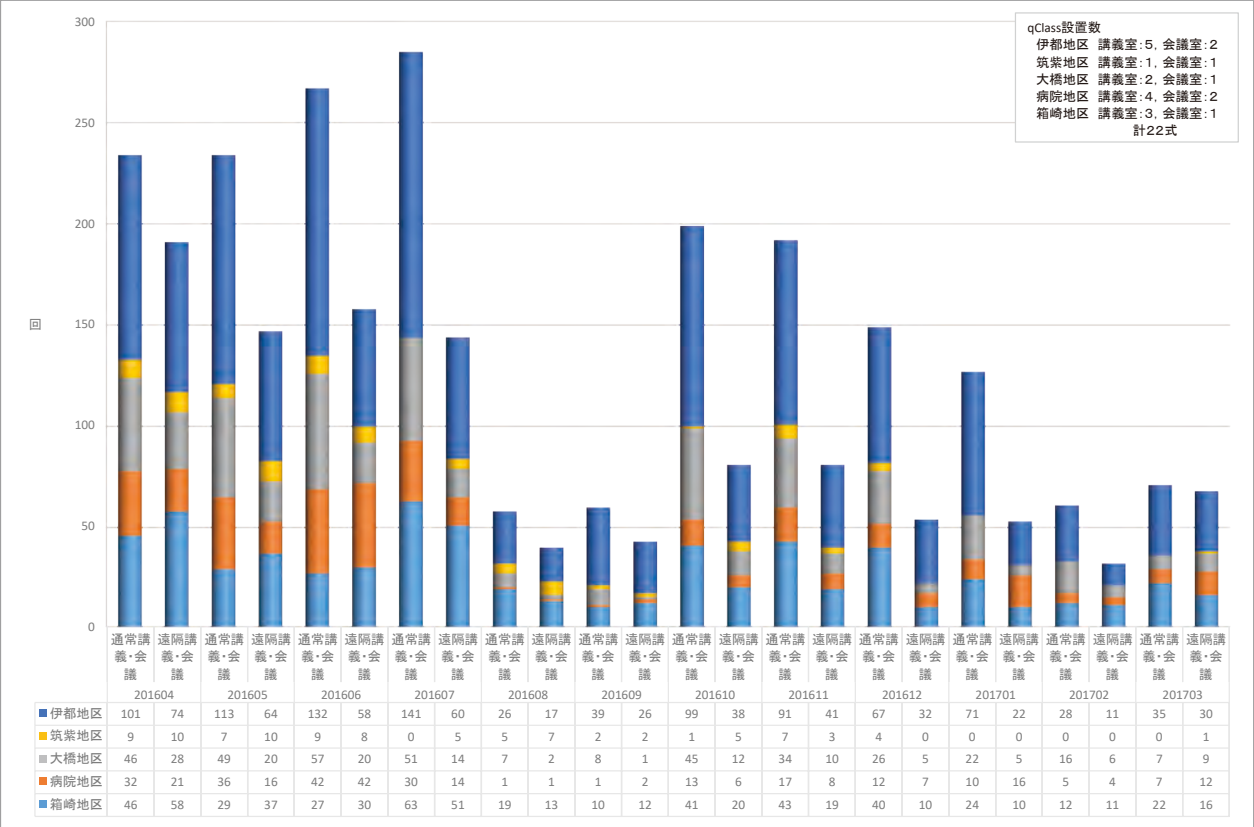
2016/04/01～2017/03/31



参考資料3

遠隔講義・会議システム「qClass」利用回数

2016/04/01～2017/03/31



参考資料4

遠隔講義・会議システム「qClass」利用時間

2016/04/01～2017/03/31

